意見を持つ権利

意見を持つ権利とは誰もが持つ物ではございません。

意見。あなた自身の考えを言って良いのは、あなたの意見と対立する意見を持つ人よりも、その対立する意見をあなたが理解出来ている場合のみ、あなた自身の考えを言う権利が与えられるのです。

相手の意見をしっかりと考慮した上でのあなたの意見でないと、浅い議論が展開されてしまう確率が高くなるのです。

相手の意見までも深く理解していれば：

１．相手の意見の強みと弱気が分かり

２．その情報を踏まえた上で、どのように相手を説得したり論破するか？

と言う戦略を練る事が出来ます。

相手の意見までも深く理解していれば：

１．あなたの意見を改善したり

２．あなたの意見を捨て、相手の意見に心変わりする事

だってあるかもしれません。

両方の立場を踏まえて理解した上での意見を持つためには、時間とエネルギーを掛けて思考しなければなりません。

そして、時間とエネルギーが掛かるからこそ、頭から湯気が出るほど頭をフルスロットルで思考させている人は多くは無い、特に暗記教育が主流である日本の教育を受けてきた日本人にはさらに多くなく、そんな中でそんな思考をあなたが行えば、群集から頭一つ抜ける事が出来ると思います。

そんな稀有な思考力を手に入れるためには：

１．相手の意見を全て納得し、飲み込むつもりで、オープンに聞く事

２．反対意見を持つ人が複数居れば、全員からその人ら自身がその反対意見を支持するり湯うを聞く

３、本を読んだり、ネットを使ってその反対意見やあなた自身の意見に関する事例や知識を蓄える

と言うように行える工夫が多数とあるでしょう。

研ぎ澄まされた、確固たる意見を持たざる者は意見を持つ権利などそもそも無く、そんな時は黙って意見を持つ賢者達の戦いを見て学ぶべきではないでしょうか？